

派遣先所属 宮城県農林水産部農地復興推進室
 氏 名 天野 篤 (あまの あつし)
 派遣期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日

1 派遣業務の内容、現況

派遣先の農地復興推進室では、基礎自治体の復興計画との整合を図りつつ、東日本大震災復興交付金「農山漁村地域復興基盤総合整備事業」を用いて、津波等で被害を受けた農地の大区画化・汎用化など、収益性を高めるほ場整備を実施しています。併せて、換地制度を用いた土地利用の整序化を行っています。すなわち、農業・農村の震災復興に際し、被災前の土地利用や営農方式を見直し、農地の面的な集約・経営の大規模化・高付加価値化など、次の時代の要請に応える取り組みを進めています。

私の受け持ち地区は、震災後にほ場整備に着手した気仙沼地区（気仙沼市）、牡鹿地区（石巻市）、南三陸地区（南三陸町）、手樽地区（松島町）、七ヶ浜地区（七ヶ浜町）です。メイン業務は、これら5地区に関する復興交付金申請です。昨春こちらに派遣されて以来、表に示すとおり4回・延べ11地区・計5,514百万円（事業費ベース）の申請に携わりました。

復興交付金申請に従事した履歴一覧

申請回\地区名	①気仙沼	②牡鹿	③南三陸	④手樽	⑤七ヶ浜
第18回				○	
第19回	○		○	○	○
第21回				○	
第22回	○	○	○	○	○



昨年度は公職自体はじめて、かつ専門分野がいささか畑違いだったため、周囲の方々に少なからずご面倒をお掛けしつつ仕事をこなしました。2年目に入り、お陰様で知識も増え様子もわかり、少しは要領よく回せるようになりました。積算・CADの経験不足は相変わらずですが、表計算・文書作成・画像処理などには妙に磨きがかかりました。せっかく身につけたスキル、3年目以降も引き続き社会貢献に活かせればと願っています。

2 被災地の復旧・復興の状況

宮城県の農地関連の復旧・復興完成面積率は約99%（平成30年9月公表）です。海岸関連などは5割前後にとどまり、それと比べればずいぶん進んでいます。

いま求められる一番の命題は、事業期間の終わる平成32年度に100%仕上げられるかです。とくに換地を伴うほ場整備の場合、個人の財産に関わり、従前以上の効果発現が必達となります。マイナスは許されず、プラスをいかに大きくして関係者に満足してもらえるかがポイントです。つまり規格や数量どおりにかたちを造るだけでは足りず、整備した基盤上で行われる農産物生産の改善に実際に寄与しなければなりません。あと2年半、予算規模こそ僅かになりますが、きめ細やかな補完対応の付帯工事や換地事務に労力や時間を割く重要性がそこにあります。さらに、農地に接する他のインフラ整備との絡みもあり、早期完成に向けて調整を図っていますが往々に

して後工程になりがちと、芳しくありません。これらの悩みを常日頃抱えながら、期間内にすべてのミッションを達成しきれるか、正直、シビアなところにあるというのが現状です。

3 被災地へ派遣となって感じたこと

このところ甚大な被害を及ぼす自然災害が続きました。国内では平成30年7月豪雨（西日本豪雨）、北海道胆振東部地震、海外では2018年スラウェシ島地震などです。災害発生の際に接するたびに東北へ志願したときの初志がよみがえり、即戦力として役に立っていないものか、はがゆさを覚えます。先日、全国知事会 Web ページで、西日本の平成30年7月豪雨被災3県に都道府県職員114名（要請209名）、うち土木43名、農業土木21名、林業20名らの中長期派遣が行われているという記事を目にしました。災害態様が崩壊や土石流、洪水、地盤災害など、そもそも自らの得意とする技術分野だけに、充足していない要請対象に該当するならば、すぐにでも飛んで行きたい気持ちが湧き起こりました。北海道についても地震により類似の現象が引き起こされており、同じ思いです。

平均的な健康余命は20歳足らず。いずれ苦勞するならば、やはりやりがいを感じられる局面に身を置いて、悲惨な災害に見舞われた人びとのために尽くしたいです。

最後に、すっかり慣れ親しんだ宮城県仙台市に触れなければなりません。仙台はとても魅力的なまちです。先日の「日本の都市特性評価2018」では、全国主要72都市中総合8位（東京都を除く）。個人的にはこれまで住んだ5, 6, 7位と間違いなく肩を並べ、9, 13, 29位とは一線を画す印象です。単に東北随一の都市機能を持つだけではありません。みどり豊かで、絆を大切にする人びとがそこに暮らし、学生ら若者たちの活気にあふれ、まち中をフィールドとしたまつりやイベントがしばしば繰り広げられます。そして、海・山・川・温泉などの自然資源に恵まれ、朝起きて思い立ったら四季折々のアウトドアへ出かけられます。暮らしやすく飽きることのない杜の都仙台、みなさまに確信をもってお勧めします。ぜひおいでください。

